

科目	臨床心理アセスメントⅡ(心A)	単位数	2
担当教員	粟村 昭子、大西 見也子		
履修対象	臨床心理学科2年秋学期		
目的	臨床場面でも特に重視される個別式知能検査や投映法について、体験学習と講義の二本立てで学ぶ。		
達成目標	<p>「関心・意欲・態度」</p> <p>(1) 個別式検査を積極的に体験する。</p> <p>(2) 自分自身で心理検査の解釈を試みる。</p> <p>「思考・判断」</p> <p>(1) 代表的な知能検査の使い方がわかるようになる。</p> <p>(2) 投映法の基礎理論についてわかるようになる。</p> <p>「技能・表現」</p> <p>(1) 個別式知能検査を部分的に施行することができる。</p> <p>(2) ロールシャッハテストのサイン化がある程度できるようになる。</p> <p>「知識・理解」</p> <p>(1) 集団式検査と個別式検査の違いを正しく理解する。</p> <p>(2) 知能検査の種類と知能指数の考え方の違いについて説明できる。</p> <p>(3) 投映法と質問紙法の違いを正しく理解する。</p>		
授業計画			
1	はじめに、アセスメントとは／授業のやり方、約束事、歴史的背景の紹介(担当:北村・粟村)		
2	アセスメントの基礎知識(1)／知能検査の基礎知識の獲得(2～7回 担当:北村)		
3	アセスメント実習(1)／知能検査の施行法の獲得(WISC)		
4	アセスメント実習(2)／知能検査の施行法の獲得(WISC)		
5	アセスメント実習(3)／知能検査の施行法の獲得(K-ABC)		
6	アセスメント実習(4)／知能検査の施行法の獲得(K-ABC)		
7	アセスメントの基礎知識(2)／知能指数の基礎理論と算出方法の獲得・知能検査のまとめ		
8	アセスメントの基礎知識(3)／投映法の基礎知識の獲得(8～14回 担当:粟村)		
9	アセスメントの基礎知識(4)／ロールシャッハ・テストの基礎知識の獲得		
10	アセスメントの基礎知識(5)／ロールシャッハ・テストの基礎知識の獲得		
11	アセスメントの基礎知識(6)／描画テストの基礎知識の獲得		
12	アセスメント実習(5)／描画テストの施行法と解釈理論の獲得		
13	アセスメントの基礎知識(6)／SCTの基礎理論の獲得		
14	アセスメントの基礎知識(7)／SCTの基礎理論の獲得		
15	倫理とまとめ／倫理についての知識の獲得と平常試験(担当:北村・粟村)		
授業形態／具体的な内容			
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
参考書			
成績評価の基準・方法	授業態度、試験により総合的に評価する。		
留意点	臨床心理アセスメントⅠと同様、授業で使用する心理テスト用紙を持参して本講義に臨むこと。私語、大幅な遅刻は認めない。		
準備学習	準備学習 特に予習は必要としませんが、復習を確実に履行してください。		
備考		No.	PY422003